

4月25日

夜が明けそめた時

ヨハネ福音書21章1～14節

21:1 この後、イエスはテベリヤの湖畔で、もう一度ご自分を弟子たちに現わされた。その現わされた次第はこうであった。

21:2 シモン・ペテロ、デドモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナのナタナエル、ゼベダイの子たち、ほかにふたりの弟子がいっしょにいた。

21:3 シモン・ペテロが彼らに言った。「私は漁に行く。」彼らは言った。「私たちもいっしょに行きましょう。」彼らは出かけて、小舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。

21:4 夜が明けそめたとき、イエスは岸べに立たれた。けれども弟子たちには、それがイエスであることがわからなかった。21:5 イエスは彼らに言われた。「子どもたちよ。食べる物がありませんね。」彼らは答えた。「はい。ありません。」

21:6 イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網をおろしなさい。そうすれば、とれます。」そこで、彼らは網をおろした。すると、おびただしい魚のために、網を引き上げることができなかった。21:7 そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」すると、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったので、上着をまとして、湖に飛び込んだ。

21:8 しかし、ほかの弟子たちは、魚の満ちたその網を引いて、小舟でやって来た。陸地から遠くなく、百メートル足らずの距離だったからである。

21:9 こうして彼らが陸地に上がったとき、そこに炭火とその上に載せた魚と、パンがあるのを見た。

21:10 イエスは彼らに言われた。「あなたがたの今とった魚を幾匹か持って来なさい。」

21:11 シモン・ペテロは舟に上がって、網を陸地に引き上げた。それは百五十三匹の大きな魚でいっぱいであった。それほど多かったけれども、網は破れなかった。

21:12 イエスは彼らに言われた。「さあ来て、朝の食事をしなさい。」弟子たちは主であることを知っていたので、だれも「あなたはどなたですか。」とあえて尋ねる者はいなかった。

21:13 イエスは来て、パンを取り、彼らにお与えになった。また、魚も同じようにされた。

21:14 イエスが、死人の中からよみがえってから、弟子たちにご自分を現わされたのは、すでにこれで三度目である。

イースターの後の出来事を学んでいます。  
今日はヨハネ21章から  
ガリラヤ湖での出来事を学びます。

21:1 この後、イエスはテベリヤの湖畔（ガリラヤ湖）で、もう一度ご自分を弟子たちに現わされた。その現わされた次第はこうであった。

イエス様の十字架、復活はエルサレムで  
起こりました。

復活後1週間、イエス様は何度か弟子たちにエル  
サレムでお姿を現されました。

舞台は南のエルサレムから北のガリラヤに  
移ります。

マタイ26:31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、今夜、わたしのゆえにつまずきます。『わたしが羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散り散りになる。』と書いてあるからです。

26:32 しかしわたしは、よみがえってから、あなたがたより先に、ガリラヤへ行きます。」

復活の後、ガリラヤに行くことを予告しておられた。



天使たちは女たちに言った。

28:7 ですから急いで行って、お弟子たちにこのことを知らせなさい。イエスが死人の中からよみがえられたこと、そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれ、あなたがたは、そこで、お会いできるということです。では、これだけはお伝えしました。」

イエス様ご自身もマグダラのマリヤに

28:10 すると、イエスは言われた。「恐れてはいけません。行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのです。」

ガリラヤに行きなさい、とだけ指示を受けた。

何をするか、何が起こるのかは知らされていない。けれども使徒は従って行った。

イエス様はなぜガリラヤへ行けと言われたのでしょうか。

弟子たちは1週間エルサレムに留まりましたが、  
イエス様の指示通り

故郷のガリラヤ召された場所の  
ガリラヤに帰りました。

ガリラヤへ帰って集まった弟子たちの名前が記さ  
れています。

21:2 シモン・ペテロ、デドモと呼ばれるトマス、ガ  
リラヤのカナのナタナエル、ゼベダイの子たち、ほ  
かにふたりの弟子がいっしょにいた。

ペテロ、トマス、ナタナエル  
ゼベダイの子、ヨハネとヤコブ  
ほかの二人、アンデレとピリポ？ 7人。  
この人たちは元ガリラヤの漁師でから  
一緒になっていたのか？

マタイは収税人、シモンは熱心党員、アルパヨ  
の子ヤコブ、タダイは漁師ではなかったかも。  
元の漁師出身の弟子が手持無沙汰、することが  
ないので、一度捨てた網をもって漁に出かけ  
た。

21:3 シモン・ペテロが彼らに言った。「私は漁に行く。」彼らは言った。「私たちもいっしょに行きましょう。」彼らは出かけて、小舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。

21:4 夜が明けそめたとき、イエスは岸べに立たれた。けれども弟子たちには、それがイエスであることがわからなかった。

21:5 イエスは彼らに言われた。「子どもたちよ。食べる物がありませんね。」彼らは答えた。「はい。ありません。」

イエス様に従ってガリラヤへ帰ってきた。

何をするか、指示はなかった。

そこにイエス様はいない、

これから何が起こるのか、

何をすべきか、わからない。

手持無沙汰からか、生活の必要のためからか、  
一度捨てた網を手に、船に乗って漁をしたが、  
一晩中漁をしたが、あいにく一匹も取れなかつた。

21:4 夜が明けそめたとき、イエスは岸べに立たれた。けれども弟子たちには、それがイエスであることがわからなかった。

岸から、イエスは彼らに言われた。

「子どもたちよ。食べる物がありませんね。」

収穫はありますか、ありませんね。

一晩中頑張ったのに収穫はゼロですね。

彼らは答えた。「はい。ありません。」

21:6 イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網をおろしなさい。そうすれば、とれます。」そこで、彼らは網をおろした。すると、おびただしい魚のために、網を引き上げることができなかった。21:7

そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」すると、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったので、上着をまとって、湖に飛び込んだ。

弟子たちはガリラヤ湖で再び不思議な大漁を経験しました。



なぜ弟子たちはガリラヤへ行ったのか。

神様の新しい計画が始まっていきます。

弟子たちに使徒として新しい出発の備えをイエス様は着々としておられます。

信仰の原点の場所、イエス様を信じ従った所、ガリラヤに帰って、もう一度、救い、召し、使命、イエス様の力の再確認をするためであった。

弟子たちは不思議な大漁を経験しました。  
ルカ5章を思い起こさせる奇跡。

5:1 群衆がイエスに押し迫るようにして神のことばを聞いたとき、イエスはゲネサレ湖の岸べに立っておられたが、

5:2 岸べに小舟が二そうあるのをご覧になった。漁師たちは、その舟から降りて網を洗っていた。

5:3 イエスは、そのうちの一つの、シモンの持ち舟に乗り、陸から少し漕ぎ出すように頼まれた。そしてイエスはすわって、舟から群衆を教えられた。

5:4 話が終わると、シモンに、「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりなさい」と言われた。

5:5 するとシモンが答えて言った。「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つとれませんでした。でもおことばどおり、網をおろしてみましよう。」

5:6 そして、そのとおりにすると、たくさんの魚が入り、網は破れそうになった。

5:7 そこで別の舟にいた仲間の者たちに合図をして、助けに来てくれるように頼んだ。彼らがやって来て、そして魚を両方の舟いっぱいに上げたところ、二そうとも沈みそうになった。 5:8 これを見たシモン・ペテロは、イエスの足もとにひれ伏して、「主よ。私のような者から離れてください。私は、罪深い人間ですから」と言った。

5:9 それは、大漁のため、彼もいっしょにいたみんなの者も、ひどく驚いたからである。

5:10 シモンの仲間であったゼベダイの子ヤコブやヨハネも同じであった。イエスはシモンにこう言われた。「こわがらなくてもよい。これから後、あなたは人間をとるようになるのです。」 5:11 彼らは、舟を陸に着けると、何もかも捨てて、イエスに従った。

信仰の原点に弟子たちをイエス様は  
立ち返らせた。

二回の不思議な大漁。最初の大漁の時。

イエス様の力を体験した。

罪人であることを認識した。

人間を取る漁師という職務に召された時の

原点に立ち返った。

何もかも捨ててイエス様に従った

信仰と献身の原点に立ち返らせるため。

ペテロたちはこれからの  
行く先、なすこと、使命が分からなかった。  
なぜガリラヤに帰らなければならないのか  
わからない。人生の暗闇の中にいるよう。  
手持無沙汰でなすことがないので  
捨てた網を取り戻して漁に行ったが  
一晩中漁をしても一匹も取れなかった。  
むなしさの中で夜が明け染めた。

神様は素晴らしい方。  
人生の不毛な時、暗闇にいる時も、  
行く先のわからない時も  
イエス様は次のために豊かに  
備えをしてくださいます。  
これはわたしたちの希望です。



21:9 こうして彼らが陸地に上がったとき、そこに炭火とその上に載せた魚と、パンがあるのを見た。

21:10 イエスは彼らに言われた。「あなたがたの今とった魚を幾匹か持って来なさい。」21:11 シモン・ペテロは舟に上がって、網を陸地に引き上げた。それは百五十三匹の大きな魚でいっぱいであった。それほど多かったけれども、網は破れなかった。

21:12 イエスは彼らに言われた。「さあ来て、朝の食事をしなさい。」弟子たちは主であることを知っていたので、だれも「あなたはどなたですか。」とあえて尋ねる者はいなかった。

21:13 イエスは来て、パンを取り、彼らにお与えになった。また、魚も同じようにされた。

イエス様はパンを裂かれて弟子たちにお与えに  
なりました。

魚も同じように弟子たちにお与えになりました。

イエス様はガリラヤ湖のほとりで  
この食事の時を持たれた。

弟子たちは何を想起したのでしょうか。

何を思い起こしたのでしょうか。

ルカ22:19 それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行いなさい。」

十字架を目撃し、今、復活されたイエス様から直々にパンをいただく時、イエス様はまことにご自身をささげて救いをなしてくださった。イエス様を信じる者に永遠の命が与えられる信仰の確信に立ちかえっています。

パンと魚を分けて5000人を  
豊かに養ってくださるイエス様。

ヨハネ6:8 弟子のひとりシモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った。

6:9 「ここに少年が大麥のパンを五つと小さい魚を二匹持っています。しかし、こんなに大ぜいの人々では、それが何になりましょう。」

6:10 イエスは言われた。「人々をすわらせなさい。」その場所には草が多かった。そこで男たちはすわった。その数はおよそ五千人であった。

少年の小さな小さなささげもの、  
大事な大事なお弁当をささげる  
信仰を豊かに祝福してくださるイエス様。  
弟子たちのささげる小さな力であっても  
豊かに祝福してくださる約束を  
新たにされた。



6:13 彼らは集めてみた。すると、大麦のパン五つから出て来たパン切れを、人々が食べたうえ、なお余ったもので十二のかごがいっぱいになった。

6:14 人々は、イエスのなさったしるしを見て、「まことに、この方こそ、世に来られるはずの預言者だ。」と言った。

6:35 イエスは言われた。「わたしがいのちのパン  
です。わたしに来る者は決して飢えることがなく、  
わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くこ  
とがありません。

私たちを豊かに養ってくださるイエスさま。

厳しい宣教の働き、迫害、試練の中でも、どんな時でも飢えることがない、乾くことがない、約束をここで新たにしてくださっています。

また小さなささげものであっても、心からのささげものを豊かに何倍にもして祝福してくださるイエス様を信じる信仰の原点に立ち返ることを教えておられます。

祈り

主イエス様、十字架に架かれ、死より勝利の復活をしてくださったことを感謝します。不信仰、恐れの中にいる弟子たちにお姿を現わして復活の確かさを教えて下さり感謝します。それだけでなくもう一度救いの原点、信仰の原点にしっかりと立たせて下さいました。今日の礼拝を通して、私たちも今一度救いの原点に立たせて下さり、確信を持って歩めるように導いてください。イエス様とともに歩み、豊かな実りある人生を送らせてください。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン。